

(様式 1-3)

福島県（楡葉町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 31 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

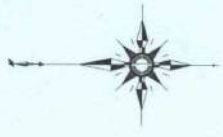
NO.	159	事業名	被災地域農業復興総合支援事業 (甘藷貯蔵施設整備事業)	事業番号	(5)-43-25
交付団体	福島県	事業実施主体 (直接/間接)	楡葉町 (間接)		
総交付対象事業費	1,846,895 千円	全体事業費	1,846,895 千円		
帰還環境整備に関する目標					
<p>楡葉町では、原子力災害からの農業再生に向け、主力作物の水稻栽培に加え、楡葉町復興計画〈第二次〉第二版の農業分野にて目標として先端事業等の活用により新たな営農モデルを確立し、強い農業経営を育成することを掲げ、新たな作物として栽培・出荷体系が機械化されており、省力化を図ることが可能な甘藷栽培を導入することで、従来町内には存在しなかった畑作での大規模営農モデルの確立を目指している。</p> <p>このため、当町では、昨年度（平成 29 年度）から、大規模甘藷栽培の実績がある農地所有適格法人が新規参入し、甘藷栽培の指導者として、町内農家 3 戸が甘藷実証栽培（約 1.5ha）を実施したところであり、本年度（H30 年度）からは、当該農地所有適格法人（認定農業者）と地元農家が連携しながら、避難先から戻らない農業者等の農地を借り受けて、本格的な甘藷栽培（約 13ha）に取り組んでいる。</p> <p>今後、新たな振興作物として甘藷栽培をさらに拡大していくためには、町が主体となり甘藷栽培農地を確保するとともに、併せて集出荷に不可欠な甘藷貯蔵施設を整備し、大規模化に対応したインフラを構築することで、甘藷栽培農家の後押しをする必要がある。</p> <p>本事業では、農業者の営農再開に寄与する施設整備を行うことで、甘藷栽培を通じた新たな営農モデルの確立・新たな産地づくりによる農業者の帰還環境の整備を行うことを目指す。</p>					
事業概要					
甘藷貯蔵施設整備事業					
① 建築設計・施工 1,685,259 千円					
② 建築工事監理業務 19,718 千円					
③ 農業機械導入（30ha 分）141,918 千円 ①+②+③ 計 1,846,895 千円					
当面の事業概要					
<平成 31 年度>					
プロポーザル方式により業者選定					
甘藷貯蔵施設建築工事（農業機械倉庫含） ※平成 32 年 9 月運用開始予定					
地域の帰還環境整備との関係					
本事業により甘藷貯蔵施設を整備し、新たな振興作物として甘藷の品質向上・安定生産を図ることで、帰還農業者、当該施設での地元雇用（町内）が約 30 名見込まれる。また、営農再開意欲の向上に伴い、未利用農地の有効活用（50ha）が見込まれる。					
関連する事業の概要					
・効果促進事業【第 24 回申請予定】					
① 甘藷貯蔵施設敷地造成工事（A=1.162ha） 382,063 千円					
② 甘藷貯蔵施設敷地造成工事施工監理業務委託 12,540 千円 ①+②計 394,603 千円					
※甘藷貯蔵施設敷地造成測量設計業務委託（A=1.162ha）25,415 千円については、町単独費用にて予算対応					
・福島県営農再開支援事業（管理耕作事業）を活用し、約 20ha 分の甘藷関連の農機具等整備済。					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

福島県双葉郡楡葉町全図

楡葉町甘藷貯蔵施設整備事業



凡	例
○	事業計画箇所

楡葉町甘藷貯蔵施設整備予定地

・Jヴィレッジ

1:50,000
1000 2000 3000

この図は楡葉町建設課が作成したものであり、正確性を保証するものではありません。また、この図はあくまで参考としてご利用ください。